

貴女は 「口のくさい」彼氏と キスができますか？

猛暑といわれる2018年の夏は「ゴミため」や排水溝、公衆便所、地下鉄の構内、街中のマンホールから立ち昇ってくる悪臭。

呼吸をすることさえ止めたくなくなることがあります、ね。

日本の熊谷では史上初の41.1度を記録したそうですが、お隣の中国では上海で40度超え、貿易戦争の相手のアメリカではカリフォルニア州デスバレーで52度を記録したとか、貿易戦争だけに双方ともに熱くなっている！？

ウナギじゃないけれど野菜の価格も「うなぎのぼり」。

集中豪雨にゲリラ豪雨、さらにトルネード、猛暑のおかげで夏野菜は大打撃。

「水ダメ」「空気ダメ」「土壌ダメ」の中国。ほとんどの企業が国営企業です。

つまり中国は国家の意思として「公害」を生み出している、と言っても言い過ぎではない。

「末端の庶民」も『習近平皇帝』も平等なのは公害で汚れた空気呼吸すること。中国のあるご婦人がゴーグルをし、背中に空気清浄機をランドセルのように背負って公害だらけの中国の街を歩く姿が全世界に報道されたことがありましたが、まだご記憶でしょうか？

さらに、中国の北京が砂漠化しそうなようす。

中国の公害は想像を絶するひどさ。

中国からの観光客が日本で最初に発するのが「日本の空は青空だ」という驚きの

言葉です。

「政治形態」の違いは絶望的で中国の「低い民度」の象徴が「公害」です。

中国もデモクラシーを導入し「選挙制度」を定め国民から選挙で選ばれた人が政治を司る民主主義を導入すればよいものを、と思うのですが「共産党一党独裁」が続く限り「公害問題」は永久に解決することはありません。

民主主義を導入したとたん中国は政治的に崩壊し、中国ではなくなる、からでしょう。

ひるがえって日本では「コウガイ」は「コウガイ」でもお口の「口害」が深刻な様子です。

日本では「お口の臭いを消すのはエチケット」として相当前から注意が喚起され、新大阪でタクシーに乗れば「仁丹」や「梅仁丹」を手渡されます。「交通安全」にかけた「口臭安全」の洒落らしいのですが、なかなかニクイ。

思わず、「ムッおぬしできるな!」と言いきりになった次第。

おばあさんにとってお孫さんから「おくち、くっさあ〜い」といわれるのは大変なショックです。10代〜20代の若い時には思いもよらなかった「お口の臭い」。40代、50代ともなればご主人ともあまりキスをすることもなくなります。お口の臭いは自分では気づくことはあまりありま

せん。本当に気の置けないお友達くらいしか「貴方少しお口がくさいかも」とは言ってくれません。



お口の臭いには2種類あって

- ◆虫歯・歯周病など口腔内のトラブルと全身由来の疾患によるもの。
- ◆起床時、空腹時に強くなる生理的口臭。お口の中の食べ物カス、歯垢・舌苔などたんぱく質が細菌によって分解されて出る「揮発性硫黄化合物」「硫化水素」「メチルカプタン」「ジメチルカプサイド」。

これに「インドール酢酸」が加われば、ホボ完璧に（うんこちゃんのカグワシキ匂い）。

お口の中から「うんこちゃんの匂い」がでるのだから、嗅がされるほうはたまったものじゃない!!

しかも、加害者のほうには自覚がない。親密度を強調するつもりなのか背後からすっと近づき、首筋、耳元で「親しげにお話しかけ」になる。

強烈な「うんこちゃんのカグワシキ匂い」は首筋から耳元を回り込んで直接鼻孔に入り込むから目から涙が出るほど強烈。

そこであからさまに「口くっせーなあ」と言えればよいが「大和なでしこ」には相手の気持ちを考えて小学生時代のように素直な反応はできない。

すると、加害者はより親密な関係を出しようと、はあーとため息をついて「うんこちゃんの臭い」の出るお口の穴を被害者のお鼻の孔により近づけてくる。

こうなると「悲劇」なのか「喜劇」なのか、難しい。

先輩社員や「上司だったらパワハラ」「異性だったらセクハラ」と言われてしまうかもしれません。

心優しき「大和なでしこ」なら、お菓子の口臭対策用の飴やドロップ、などを上司や先輩に「おすそわけ」してくれるかもしれませんね。

しかし、加害者は意外に鈍感なもの。いつかははっきりといわなければならないかも……。



アメリカ映画やアメリカのTVドラマでは初デートの前におめかししたお兄ちゃんが顔をしかめながら、クチュクチュパツとウガイをしています。学校でパーティーがあり、彼女と初めての熱いキスに胸が高まります。だから先ほどから落ち着かず、何度も何度も洗面所で頭をなでつけたり、マウスウォッシュをくりかえしています。

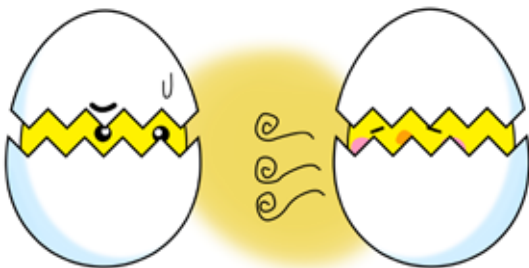
マウスとマウスでキスをするのが日常化している海外では口臭に敏感なのは当然です。

一方、キスをする習慣のない日本ではパートナーの口臭に気づきにくく「口臭のエチケット」の欠如は家庭や社会の大問題です。

「口臭」は親子や夫婦間の接近の邪魔をします。

口臭がひどいと、臭いので鼻が先に拒絶するのです。

きれいな花を見るとつい近づいて手に取り香りを嗅ぎまわりますが、女性もいつまでもきれいな花でありたいものですね。



第一三共の新商品

第一三共ヘルスケア株式会社は、口臭を予防する薬用イオン歯みがき「ブレスラボ®」と、薬用イオン洗口液「ブレスラボ® マウスウォッシュ」(いずれも医薬部外品)を2018年8月27日新発売。

ブレスラボ® 口臭を予防する薬用イオン歯磨き

口臭を気にする人は成人(20~60代の男女)の5%に上り、口臭の対処法として「歯を磨く」「洗口液の使用」などを

行っている。

しかし「効果」や「持続性」に不満という。就寝中や空腹時、緊張時に唾液が減る。すると口の中の細菌が増殖し、食べかすなどのタンパク質を分解して「生理的口臭」を発生します。

歯周病や虫歯などによる「病的口臭」などがありますが、それぞれ発生の原因が異なることから、臭いの種類も異なります。

「ブレスラボ®」は、口臭予防に特化して開発した製薬会社の新ブランド。

口臭の元となる成分を取り除き、生理的口臭の原因となる細菌を殺菌。抗炎症成分配合によって病的口臭の原因となる



「ブレスラボ® ダブルミント」
参考価格880円



「ブレスラボ® シトラスミント」
参考価格880円

歯肉炎を防ぎます。

第一三共ヘルスケアは口臭の原因に幅広く対応した「ブレスラボ[®]」を通じ、現代における口臭の悩みに新たな選択肢を提案していく、という。

〔製品特長〕

- ◎口臭予防に効果のある薬用成分を配合。
- ◎吸着剤として「塩化亜鉛」を（歯みがき剤）に。「グルコン酸銅」を（洗口液）に配合。
- ◎独自の香料処方KCS（キープ・クール・システム）を採用。清涼感が持続します。



「ブレスラボ[®]
マウスウォッシュダブルミント」
参考価格880円



「ブレスラボ[®]
マウスウォッシュシトラスミント」
参考価格880円

このマウスウォッシュは蒸留水などで希釈して使うタイプではない、いわば、そうめんやお蕎麦のおつゆのストレートタイプ。

薬剤と蒸留水の割合を間違えない、製薬メーカーが調合しているので安心してそのまま使用できます。